

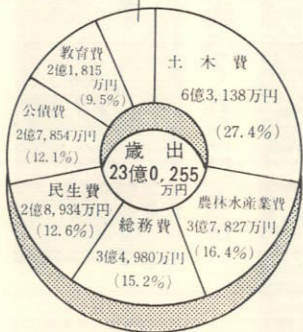


54年度予算ができました—その使いみちは!

伊方武道館新築・二見集会所建設など

使われる お金の構成

衛生費6,822万円(3.0%) 子備費1,200万円(0.5%)
議会費4,190万円(1.8%) 商工費 403万円(0.2%)
消防費1,576万円(0.7%) 農畜振興費 15万円
労働費1,486万円(0.6%) 諸支出金 15万円



二歳出 道路新設・改良に4億円

◎議会費 4,190万円 (1.8%)
この議会費の主なもの、18人の議員さんの報酬や手当に 2,969万円。議員さんの共済費 254万円。その他議長交際費や議会事務局職員の給与や手当、旅費などが計上されています。

◎総務費 3億4,980万円 (15.2%)
ことしの総務費は、使われるお金の第3位です。この総務費は職員給与、手当、共済費が大きなウェイトを占めているほか、教育文化総合センター基本計画作成委託料 1,900万円、二見集会所建設費 1,191万円計上されています。

生活環境施設整備促進調整費 500万円。
原子力発電所対策費に 210万円。
統一地方選挙費 348万円。
交通安全対策費93万円。

農林漁業センサスなど7つの統計調査費に173万円。区長さんの報酬がアップされ204万円に、またこの広報「伊方町」編集費118万円も総務費に含まれています。

◎民生費 2億8,934万円 (12.6%)
使われるお金の第4位にあたります。その主なものにビックアップしてみました身体障害者家庭奉仕員賃金 127万円。重度心身障害者医療費助成費 673万円。国民年金事務費 805万円。障保館費 195万円。ホームヘルパー賃金 254万円。

老人クラブ助成金 154万円。敬老会補助金127万円。長寿祝金114万円。老人医療費は前年より277万円多い4,455万円。はり、きゅうの施術補助費78万円。亀浦老人憩いの家建設設計委託料15万円。7つの保育所の運営に必要な経費1億4,775万円(前年に比較して185万円の増となっています)児童手当費に3,991万円(348万円増)が計上されています。

◎衛生費 6,822万円 (3.0%)
衛生費のなかでは、歯科診療所医療機器購入に 336万円。成人病・結核検診及び寄生虫検査、ましん(ハンカ)予防接種に 169万円。胃・婦人ガン検診 138万円。カ・ハエ退治(一斉消毒)に 232万円。隔離病舎の取りこわし工事費99万円。母子健康センター費 313万円。

水質調査及び農業災害防止対策に 136万円。乳児保健費 133万円。保健センター新築に伴う施設管理費に 110万円。ことしはじめての事業である国民健康づくり地方推進事業費90万円のほか、婦人の健康づくり推進事業として 135万円。八西衛生事務組合負担金 788万円。

◎労働費 1,486万円 (0.6%)
失業対策事業に必要な賃金 864万円。原材料費47万円などが主なもの。失業対策事業従事者は、現在12人で平均年齢67歳です。高年齢化が進んでいます。

◎農林水産業費 3億7,827万円 (16.4%)
使われるお金の第2位がこの農林水産業費で、全体の16.4%にあたります。その主なものを見てみますと—土地改良区補助金 150万円。青年農業者会議対策費50万円。災害融資、近代化資金の利子補給に 522万円。農道開設補助金(農林産業資金元利補給費含む) 2,444万円。

国土調査事業3,415万円。本年度は九町越、アラカヤ地区(2.8km²)が実施され、ことしで現地調査は終了します。松くい虫防除対策として、ことしもヘリーによる空中散布(180ha)費用824万円。水産関係では、伊予灘漁場改良事業 480万円。漁業振興補助金 210万円。

豊之浦漁港の改修に 8,320万円。川永田、鳥津の漁港局改良事業5,340万円。九町、伊方町の漁港整備事業 7,020万円。中浦、九町の海岸保全事業に5,900万円。

◎商工費 403万円 (0.2%)
商工会補助金 170万円。社組組合補助金36万円。町の中小企業振興融資の信用保証協会への預託金に 150万円。

◎土木費 6億3,138万円 (27.4%)
使われるお金のトップは、この土木費で全体の27%を占めています。伊方大川護岸改良工事(河内)1,000万円。道路維持修繕費 150万円。道路の新設改良費として3億9,540万円。この内訳は九町九町越改良2億8,000万円。九町越公園のビジャーズハウスから四電独身寮まで2,000m間を全線幅員5mに拡幅、カーブ改良を行うものです。

立神線改良 7,500万円。湊浦伊方越線改良 1,200万円。湊浦久木尾線新設 1,500万円。中浦茅の峰線舗装 450万円。中浦法通寺線舗装 320万円。川永田向山線舗装 390万円。立神線舗装 180万円。高汐対策事業に1億5,000万円。大浜港、小中浦港の海岸整備を行います。また、中之浜港の局部改良事業として3,600万円予算化されています。

◎消防費 1,576万円 (0.7%)
団員報酬、出動手当に 559万円。消防団員等災害補償退職報酬金組合負担金として 360万円。消防車、積載車の車検経費等に86万円。消防施設備品のホース、チェーン購入に175万円。

◎教育費 2億1,815万円 (9.5%)
ことし、教育費の当初予算の中で一番大きい事業として、伊方武道館新築があり 8,730万円予算化されています。6つの小学校に要する管理費 2,357万円。6つの小学校教育振興費 890万円。

昭和五十四年度町の台所予算がスタートしました。この予算を見てみると、一般会計予算が二十三億二千九百九十九万五千九百八十六円と、一般会計が全体の47.2%を占めています。このことは、四国電力の原子力発電所施設の土地、家屋、償却資産が固定資産税として約8億9,000万円(町税の82%)入ってくるからです。昨年はいまだで依存財源として入ってきていた地方交付税の未交付団体となっていたが、ことしは地方交付税を3,000万円見込んでいます。また、入ってくるお金のなかの国庫支出金約5億円のうち電源立地促進交付金が、1億6,000万円含まれています。

各会計の予算状況

Table with columns: 会計別, 年度別, 一般会計, 国保会計, 水道会計, 学校給食会計, 港灣整備会計, 合計. Rows for 昭和54年度, 昭和53年度, 増減.

町づくり・人づくりのために 全会計で二十九億円



2つの中学校に要する管理費1,112万円。中学校の教育振興のための費用1,154万円。社会教育費1,814万円。

このなかには、家庭教育学級、成人式、就学前母親研修会などの費用のほか、青年団、婦人会、PTA、同和教育協議会、生活運動推進協議会、文化グループ育成等の助成金が含まれています。このほかに視聴覚ライブラリー教材充実事業備品(フィルム)購入に300万円が新しく予算計上されています。

中央公民館費 845万円。—青年学級、婦人学級、紅梅・若葉学級、生活学級、成人講座などの各種学級の開催費用や文化祭、公民館結婚式費などが計上されています。図書館充実のための図書購入費に80万円。中央公民館冷暖房工事に 295万円。町見公民館費 316万円。

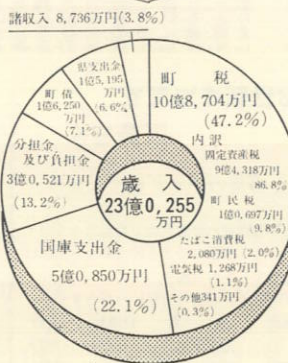
保健体育費 340万円、このなかには町民運動会費63万円。町民協補助金33万円。スポーツ少年団育成、スポーツ少年団大会費などがあります。また、夜間照明施設電気代59万円、町見中学校グラウンド夜間照明増設工事 107万円も含まれています。

学校給食センター費 1,956万円。保温食かん、天ぷら入れ、球根皮はき機などを購入します。体育施設建設費 8,730万円。前記しましたように伊方武道館(柔剣道場)新築費のほか、伊方町の日理科教員の解体費、剣道防具等の購入費を予算計上しています。

◎災害復旧費 15万円
◎公債費 2億7,854万円 (12.1%)
この公債費は、町づくりのために町が困るから長期にわたって借りたお金をかえす費用です。償還元金1億6,516万円。
“ 利子1億1,337万円。

◎諸支出金 15万円
◎予備費 1,200万円 (0.5%)
本来の予備費 100万円のほかに、職員給与と改訂の財源確保のために 1,100万円が予算計上されています。

入ってくる お金の構成



一歳入 原簿施設から9億円 町税が全体の47%

入ってくるお金を円グラフを見ながら簡単に紹介してみよう。これを見ますと、ことしも前年につき町税が、全体の47% (約11億円)にあたり大きなウェイトを占めています。

このことは、四国電力の原子力発電所施設の土地、家屋、償却資産が固定資産税として約8億9,000万円(町税の82%)入ってくるからです。昨年はいまだで依存財源として入ってきていた地方交付税の未交付団体となっていたが、ことしは地方交付税を3,000万円見込んでいます。

また、入ってくるお金のなかの国庫支出金約5億円のうち電源立地促進交付金が、1億6,000万円含まれています。



